

# ZIZI-YAMA

## 2015フェイスブック時折日誌



2015/12/28 年の終わり

冬至過ぎ  
宇治川は冬景色  
白い鷺と黒い川鶺が  
小さな中洲に肩寄せあうように

河岸の水仙が微かに香り  
猫が物言いたそうに見つめていた

釣瓶落としの日の暮れ  
鉄橋を鳥羽行きの特急が渡り  
沈みかけた夕陽が



2015/12/23 年の終わり

冬至を越えて一日  
気持ちのせいだけど  
心なしか夜明けの時間が早くなったような  
祝日の朝の一仕事が終わわり  
いつもと違う気持ちゆるりの昼下がりが

京つね屋  
鴨南蛮蕎麦ができるまで  
正一合上燗  
気持ちゆるりの  
昼下がりの一人酒

しばらく待つと  
鴨南蛮蕎麦が来る  
正真の真鴨  
噛めば鴨の野生の味がジュワリ  
上燗で流し込む

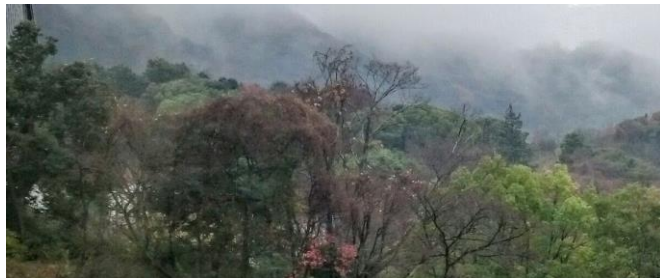
鴨出汁を纏った蕎麦一すすり  
そしてまた一杯  
至福至福



2015/12/22 山が煙る

今日  
初冬の山が煙っていた  
山煙を見ていたら  
なぜだか、なぜだか  
ただ、むしょくに...  
理由もなく(きっとあるのだろうけど)  
昔食べた魚肉ソーセージの味が  
思い出されて

昭和の味を再現したという魚肉ソーセージと  
牛蒡の胡麻酢和え  
プレミアムの兄弟  
デンマークのクリスマスピアに  
グランドキリンの梟の森  
なぜだかそうって  
みんなそろって、みんないい



2015/12/18 実生18年

2015年、後半月を切り  
実生18年の銀杏が  
今年も  
潔く衣を脱いだ

脱ぎ捨てた黄金色の衣が  
その足下に  
脱いだ衣に暖められて  
新しい朝が来る



2015/12/11 三兄妹

新たな年に  
新たな出会いと始まりに  
幸いあれど

作業療法参加の皆さんと...  
いつもの粘土会話の中から  
招きの三兄妹が生まれました

しっかりもの長男  
我が道を行く次男  
ほんわかのおっ子は女の子

三兄妹そろって  
皆さんに  
ひとりの出会いを  
幸を招きます



2015/12/3 カウントダウン

12月  
2015年のカウントダウンがはじまった  
鴨の河原の木々も  
すっかり冬支度

ユリカモメの群も次々飛来  
鴨のカップルもなん組かやって来た

冷え込みが遅くて心配した  
実生18年の銀杏の鉢植えも  
やっと色づきが盛り

退官一年目  
まだまだ残務があり  
先生を辞めたのに  
今年も年中師走状態  
来年はゆるりの年になればいいな



2015/11/27 道後の湯

愛媛十全での講義が終了したので、道後温泉で一人湯。湯上がりは道後温泉ビールかな！





2015/11/27 蒼空に

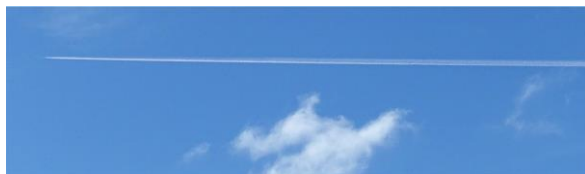
初冬の蒼空  
今日も  
この自家用機のような  
可愛い201111プロペラ機で  
松山に



このプロペラに身を委ねて  
無事松山到着  
今日は  
電動マッサージ機のように  
震動が

2015/11/26 年の括りが

飛行機雲が  
秋の残りを切り取るように  
蒼空を  
今年も鴨川にユリカモメが飛来...  
昨年より十日あまり遅い到着  
若いれが先登隊に続いて  
群が来るのもう間近  
河畔の桜も  
新しい命の準備を終えて  
残り葉が一枚  
梅檀もすっかり熟して  
衣を脱ぎ捨てていた  
さあ、年の括りが始まる  
新しい春を迎えるために



2015/11/20 冬の足音

キリと冷え込み  
今年もやっと  
実生の銀杏が色づき始めた

精神神経科病棟の院庭の銀杏の実を..  
患者さんたちと拾って  
鉢に植え18年  
毎年季節のうつろいを語る

この色づきの日  
淡路の友からフルーツ玉ねぎが  
高知の友から新生姜が届いた

嬉しくなって  
玉ねぎはサラダとすき焼きに  
新生姜はまず佃煮にして卵酒で  
そして生姜酒

冬の足音が聞こえる



2015/11/8 まだ明けやらぬ

湯田温泉は白狐の湯の言われがある  
駅前で大きな白狐の出迎え  
作業療法士協会全国研修会  
一仕事終えて湯に浸かる  
濁りのない澄んだ湯

夕方の交流会は利き酒  
噂の瀬祭、東洋美人  
山口の銘酒地酒が勢ぞろい  
来年度の研修会会場岩手から  
呼び水の一ノ蔵も飛び入り

全国研修会は学びの場ではなく  
日々の臨床で忘れていたことへの気づき  
各地の作業療法仲間との出会いによる  
心の充電の場  
気づきと出会いと充電で  
若人の新たな学びが始まる

一夜明けて帰路につく  
単線の山口線  
ひっそりと佇む白狐の駅を後にする



2015/11/7 まだ明けやらぬ

まだ明けやらぬ  
京都の作業自宅を出て  
作業療法士協会全国研修会会場  
山口湯田温泉の町に移動中

僕の演題は  
「これからの精神科作業療法」  
この演題で何を語るか？  
これからは  
精神科作業療法という見方そのものを  
そういう捉え方を変えなければ  
作業療法が過去のものになる時代

企画者の意図が何であれ  
世の中は大きな転換期にある  
人は心身の病やそれに伴う生活の支障を  
どのように生きてきたのか

今こそ  
数値化という近代科学の中で  
見失っていた  
人の身体性から  
作業療法を見直す時が来た



2015/10/28 晩秋の空

キリッと澄んだ  
晩秋の空  
京都に紅葉の季節が訪れた  
梅檀の実が色づきはじめ  
桜葉も紅色から濃い赤へ

鴨川河畔の桜並木は  
紅葉の絨毯  
そっと歩いたら  
カサカサと秋の音がした

一葉 二葉  
掌にのせると  
手が真っ赤に染まってしまいそう  
そっとベンチに



2015/10/28 冷え込み

朝夕の冷え込みがしっかり  
こんな日の昼御飯は  
やはりスープ卵ご飯  
卵の黄身がひときわくつきり

そして、今日は地鳥のキモ煮があった  
酒と薄口醤油と少しの味醂で  
じっくり煮込まれ  
ああ！昼でなければ  
仕事がなければ  
人肌の酒があれば言うことなし

午後の精神科作業療法の時間  
寒くなってきたので  
赤鬼にパンツをはかせた

そうだ帰りに  
いつものハイボールバーに寄ろう  
風が冷たい日だから



2015/10/22 広島づくし

母校の大学の特別講義の日  
お昼は宮島駅上野のあなご弁当  
帰りに新幹線の時間までに  
イカエビ入リスベシャル広島焼  
そして広島カープ紅葉饅頭...  
年に一度の広島づくし





2015/10/22 パワースポット

富永ポンド氏の作品がわが家に  
今年の作業療法学会の  
表を越える裏番組  
MUH00会場で  
ライブパフォーマンス...  
ポンド氏の作品に一目惚れ

できるものなら譲ってほしいと  
無理を承知のお願いに  
ころよく承諾頂き  
昨日作品がわが家に

これをこの玄関に取り付ける  
ひとの繋がりのパワースポットが  
ここに生まれる



2015/10/21 祝い酒香に

少し歳の若い友の  
契りの席に招かれた  
人生の括りに入ると  
自覚した年に  
新たな道を歩む若き友に...  
契りの席に招かれた

じんわりと嬉しくなって  
手土産の祝の酒を選びに  
いつもの伏見の酒屋に  
京の酒米祝米の酒を利く  
フフ 友の祝を肴に選ぶ利き酒  
どれがいいかな？

できれば  
今、この席に呼んで祝いたい  
若き友よ！  
二人の未来に幸あれ  
おめでとう



2015/10/21 スープ卵ご飯

朝夕の冷え込みに  
鳥牧場の鳥たちも  
夏の疲れがとれ  
卵に色つやが戻ってきて

京つね屋メニューに  
秋の訪れを告げる  
スープ卵ご飯が書き加えられた

丸鳥でとったコラーゲンたっぷり  
地鳥スープに  
地鳥の水炊き  
有精卵の卵かけご飯  
声を失う  
ただ 美味しい



2015/10/16 泣いた赤鬼

泣いた赤鬼はんも  
わろてくれはったらええな  
さみしんちゅうやろか  
かわいそうやな  
の聲に

そやなと思うて  
粘土こねてたら  
あれは？これは？と注文  
気がつけば  
大きな口開けて  
わろてる赤鬼はんが

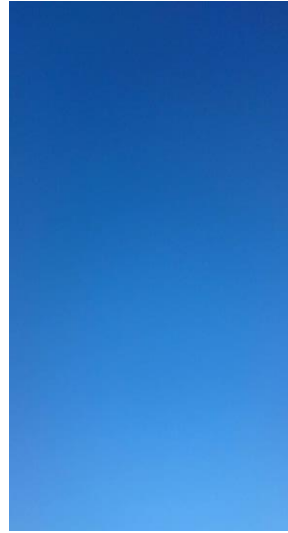
ついでに蛸薬師さんに  
灯いあげてお願いしました  
なんかはないしょ

みなさん  
今日もええ一日に！



2015/10/14 ああ！

ああ！  
ああ！  
それ以外の声を失ってしまう  
ただ、抜けるような蒼い空...  
なにもない  
ただ、抜けるような蒼い空  
こんな日も  
講義と臨床支援がある  
でも今日はフランスで  
作業療法をしている友が来る  
そうだ、友と語る秋の夕べは  
馴染みのビアバーにしよう  
彼の国の作業療法の話は  
この国の美味しいピアをチェイサーに



2015/10/8 気がつけば寄り道

ライブスーパージョンを  
終えた帰り道  
気がつけば道草寄り道  
いつもの  
ハイボールバー  
働き人たちが帰り始める前の  
静かなひととき  
こんな時間を  
一人楽しめる括りの今  
いつもの山崎ハイボール  
チェイサーにドRAFTピア  
フット道草  
一人いつもの寄り道  
さあ、働き人たちが店が賑わう前に  
退散退散



2015/10/4 生活塾

今日は生活塾  
葉山兄とのコラボの日  
いつもの時間に起きて  
仕事と心身を整え  
熊本城散策  
いつ見ても  
男気のある造形  
この武者返しの  
凜とした曲線のようにありたい



2015/10/3 島原

島原湾に朝が来た  
昨夕  
熊本生活塾の  
葉山兄とのコラボのために熊本入り...  
島原の夕陽を見て  
タコの軟らか煮  
伊勢海老のつくり  
鮑のバター蒸し  
刺身の盛り合わせ  
♫は  
伊勢海老の味噌汁  
ムカゴ入り鯛めし  
ああ！友と語り食べて呑む  
蒼空、久保田の吟醸香が  
至福のひとつき





2015/10/1 早い秋

宇治川の川面を吹く風が  
スキの穂に早い秋を告げ  
御陵の山から降りてきた  
茜も鮮やかに色づいた

酒蔵の川筋に  
コスモスが揺れ  
もうすぐだよと  
新酒の仕込みの季節の  
足音が遠から



2015/9/29 ちりめん山椒

スーパームーンも  
京の月は恥ずかしそうに  
隙間雲から見え隠れ  
...一夜明けて  
空は秋晴れ  
蒼空に刷毛で掃いたか  
すじ雲が数筋  
ああ、こんな朝にはと  
冷凍で寝かせていた香川のシラス  
鞍馬の実山椒煮をとりだして  
ちりめん山椒を作ってみた  
土鍋で炊きあげたご飯に  
ピリッと山椒の実が  
お米が大切に育てられる国に  
暮らしていることに  
ただ感謝  
今日はさっといいい日になるだろう



2015/9/20 パワースポット

シニアウィーク  
シンガポールから帰省した孫家族と  
海外からの観光二年続けて第一位の  
パワースポット伏見稲荷に  
...アジアからの観光が列をなし  
千本鳥居は人の海



2015/9/13 空高く

空高く  
うろこ雲が広がる日曜  
ツレの病には  
適度な運動と  
五感をいっぱい使う  
自然とのふれあいがいい  
今日は絶好のサイクリング日より  
宇治川河畔を天ヶ瀬ダムまで  
片道10キロ  
数日前までの雨で  
ダムは連日の放水  
川面に鱗雲が泳ぎ  
小さな秋を見つけた  
抹茶ソフトがトロリ



2015/9/7 流れ

色づき始めたゴーヤが  
夏の終わりを教えてくれた

まだ  
川の水かさは...  
退かないが  
今日は  
秋晴れ  
空が高い

今宵訪れた  
この静かなひとときは  
ヌチマースの味付けだけで  
小豆の炊いたんをつまみに  
ウイスキー半々割り

小豆の優しい甘みが  
懐かしい



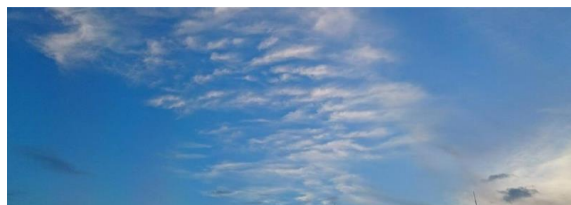
2015/9/7 流れ

少し前までは  
時の流れの中にあり  
流れに乗っていた  
流れに乗せられたこともあり  
流れに流されたこともある

今 時の流れの外にいて  
眺めている

川岸に腰をおろして  
流れる雲を眺めるように  
流れる川面を眺めるように  
時の流れを眺めている

こうして眺めていると  
見えなかったものが  
見えてくる





2015/9/3 早い秋

毎日のように  
スコールのような雨が降り  
鴨川の水かさが増す

比叡から京の町に降りてきた茜  
色づく間もなく早い秋

ゴイサギと鴨が  
「どうなるんやろ」  
「そやね、おかしな天気やね」  
「人間のせいちゃうか？」  
と、茫然と溢れる川面を眺めていた

河原のススキも  
秋の仕度がまにあわず  
早い秋に戸惑っている



2015/8/30 ハイカラ父さん

ひとが精神を病む  
その病により生活に支障を来している  
治療医学はその病の治癒や軽減を図る  
それを否定はしない

しかし  
生活行為を手だてとして  
生活の安寧を失った人に関わる作業療法では  
病の治癒や軽減に合わせて生活の取戻しを援助する

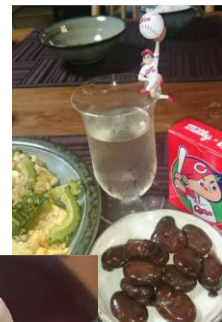
それは  
その人がいつどこでどのように  
今の病が始まったのか  
どのように医療と出会い  
どのような治療を受けどう経過したのか

これまでの生活  
今の心身の機能や生活の環境と状態  
自分やおかれた状況をどう思いこれからどうしようと思っているのか

時代や文化風土、人  
さまざまな背景とその影響も視野にその人との共同作業  
その共同作業が適切に行われているか  
行き詰まっているなら何が問題か

二日で二例の事例検討は  
そうしたすべての背景を視野に進められるグループスーパービジョン

それが終わって一息  
広島からの参加者の気配りナイスキャッチのフチ子さんを友に  
ゴーヤチャンプルーと醤油豆で純米吟醸





2015/8/27 ハイカラ父さん

2ヶ月半あまり前  
粘土の塊から大きな母さんが生まれ  
2週間あまり前  
お父さんの声に  
ハイカラ父さんが生まれた

父さんにも母さんに合わせて  
少しおしゃれを施してみた

山高帽にステッキのハイカラさん  
ラメの入ったピンクのタイ  
ちょっぴり気取った父さん  
母さんと並んで記念写真も

猛暑の日々が去り  
パラレルな作業療法の場に  
爽やかな涼風が



2015/8/18 秋へと

少し夜明けが遅くなり  
山の緑や影が色濃く  
季節は確実に

秋へと向かっている  
空気が澄み  
陽射しが傷む  
朝露を集めていたら  
黒猫が何かを見ていた  
何を見ているのだろう



2015/8/16 五山の送り火

送り火の日  
路地裏の空地にやぐらが組まれ  
供養の踊り

年に一度 ...  
京の町は灯りを落とし  
五山に灯をともし



2015/8/16 五山の送り火

河原のススキが秋を告げ  
残暑は厳しいが  
今日は五山の送り火  
大文字の松明の準備も終わり

...百日草(サルスベリ)の花が  
華やかに名残の夏に咲いている

高野川と賀茂川が出会う下賀茂の河原に  
国際色豊かに人々が群がり水遊び

出会った川は鴨川に名前を変えて桂川に  
桂川は宇治川と木津川と交わり淀川に  
川は淀み 交わり 海になる



2015/8/14 五山の送り火

もうすぐ五山の送り火  
例年になく猛暑日が続く京の河原に  
まだ色づかない秋茜が  
比叡の山から降りてきた

見上げれば  
センダンの実 銀杏の実が  
秋の実りの整いを済ませていた

川面を泳ぐ鴨  
水遊びの親子にも川風が  
四条河原の風物  
若者たちの電線雀並びが戻ってきた  
猛暑の京に秋の足音



2015/8/12 ハイカラ父さん

一ヶ月半あまり前  
粘土の塊から大きな母さんが生まれた  
いいね いいね の声と  
お父さんという声  
...それではと  
あれこれしているうちに  
ハイカラ父さんが生まれた  
山高帽にステッキ  
チョコビヒゲ  
ハイカラ父さんの洋服も  
ハイカラになるのかな  
今日もバラレルな時間が  
フフ フフ と過ぎてゆく  
病を生きている日々の  
少し病を忘れる時間  
隣のキッチンコーナーでは  
誰かが焼きそばを作っている



2015/8/10 水茶漬け

今日の仕事は午後から夜  
この朝の時間に  
車を駆って鞍馬の里へ一走り  
目あては  
実山椒と葉唐辛子の炊きもの  
...青いガ栗が秋を待つ鞍馬の里  
春採りの実山椒と葉唐辛子  
土鍋炊きの熱飯を氷水で洗う  
冷水を注ぎ  
実山椒と葉唐辛子の炊きものを適量  
サッサと喉に流し込む  
飯の甘味に実山椒と葉唐辛子が  
ピリリ  
食の落ちる夏の昼はこれにかぎる  
ああ、午後の仕事がなければ  
葉唐辛子で一杯  
実山椒で一杯  
水茶漬けで一杯なのに  
と仕事に向かう



2015/8/9 鮎味噌煮

夏の陽が落ちて  
高瀬川に川風に誘われて  
歩々 歩々 三千歩  
気がつけば足は  
伏見の酒蔵の街  
...カッパ天国黄桜横目に歩々  
歩々 頬が弛む油長のカウンター  
猛暑の夕は  
夏の生酒に頬が弛む  
歩々の後 頬弛み ホホ フフ フフフ  
弛みついでに  
生鮎の味噌煮をつくって  
猛暑の夕は 酔い酔い 良い良い  
頬弛む





2015/8/9 もうすぐ送り火

37℃連日の猛暑日  
その陽射しに負けない  
紅いカンナの花

草むらに...  
暑い暑いと蝉が脱ぎ捨てた衣  
七日過ぎれば  
もう五山の送り火

三年前に被災薪を送り返した送り火  
返された薪は現地の迎え火で焚かれた  
何を送るのか  
送り火の焰が今年も京の夜空に

下界のざわめきのなか  
猛暑の空には秋の雲



2015/8/7 スイカパー

講演のプレゼン資料作成中に  
ミルクたっぷりのエスプレッソが飲みたくなって  
牛乳を買いに行ったら  
なぜだか、なぜだかスイカパーが目にとまった

そしてやはりなぜだか  
店を出たときは、スイカパーが

ZIZI66歳  
この暑さのせいにして、スイカパーを食べる  
孫に買ってやったことはあるが  
ああ!!自分が食べるなんて!  
66歳を子供帰りにさせたこの暑さ!



2015/8/7 香煙

早朝、香煙の漂いに  
時の流れを委ねる  
今年は  
こうした時間の過ごし方を  
取り戻す潮時と数年前から決めていた

潮時は退き時と言われることもあるが  
潮時は新たなことを始める最適な時

倒れるまで続けるのが美しい仕事もある  
しかし、自分が選んだ仕事は  
ひとが人に開く生業(わりわい)  
盛りが過ぎかけたときは潮時

潮時を逃したら  
本当にしたいことはできなかつただろう  
これまで断れずに逃してきた潮時がある  
危ない危ないこれが最後の潮時だった



2015/7/28 蟬時雨

宵待草の向こうに  
梅雨明けで水嵩の増した宇治川

河畔は蟬時雨  
あちこちに...  
7年越しに脱ぎ捨てた蟬の衣が  
次の命を紡ぐために  
命の持りを謳う  
蟬時雨

釣り人が独り  
水嵩の増した川面に  
釣糸を垂れる  
ただ 静かに  
蟬時雨が



2015/7/24 大きな母さん2

掌(たなごころ)に粘土  
患者さんと話している間に  
その粘土から生まれ  
思わず大きな母さんと名付けた  
あの土のふくらみを素焼きしてみた  
...あたたかな素焼きの肌を見ていたら  
少しおしゃれを施してみたくなった  
袖をかげずに  
そのままアクリル絵の具で  
こんな服を着せてみた  
母さん どうだい  
気に入ってくれるかな？  
上まぶたにも少しシャドウ  
頬にはうすら  
唇にもさりげなく紅を  
どうだい 母さん



2015/7/19

梅雨が明け  
水嵩の増した宇治川河畔を歩く  
今日は桃山南口から上流をめざす  
体調の整えのウォーキング  
...休み休みの道草で二時間半あまり  
一万二千歩  
春の名残のシロツメクサ  
初夏から秋に咲く姫女苑(ヒメジョオン)  
せっせと蜜を集める蜜蜂  
夏の日を楽しむキリギリス  
川の流れて方丈記の一節が  
ゆく川の流れば絶えずして  
しかもとの水にあらず  
よどみに浮かぶうたかたは  
かつ消えかつ結びて  
久しくとどまりたるためしなし

朝に死に  
夕べに生まるるならひ  
ただ水のあわにぞ似たりける  
化粧直しが終わった平等院  
平安の時代からのゆく川と共にある  
何を見たのか知っているのか



2015/7/15

朝 夜が明けはじめた宇治川河畔を歩く  
歩々 歩々  
梅雨の晴れ間か  
梅雨明けの兆しか  
青空と白雲が眩しい  
...ああ これからあの暑い夏が  
始まろうとしているのに  
狗尾草(猫じゃらし)が実をつけ  
河岸の草花には秋色が  
自然はいつものように季節を先取り  
芽先を伸ばし行先に迷っている葛  
葛はいつも空高くを目指しているように  
芽先を伸ばしながら ふと気づくのだろう  
ああ 独りで高みを目指していたけど  
支えがなければ迷ってしまう自分に  
川風に乘って合歡の花の甘い香りがする  
朝の一万歩



2015/7/11

ICU緊急入院から二十日あまり  
自宅療養になってから一週間あまり  
小暑(しょうしょ)を過ぎ  
梅雨曇りに  
ほのかな恋の花言葉を持つ待宵草  
...自宅療養で休みを挟みながらの  
慣らし運転  
扶む休みも低下した体力の回復に  
毎日一万歩のウォーキング  
昨日は久しぶりに東寺に足が向き  
亀が梅雨の晴れ間を日向ぼっこ  
温風(あつかぜ)と共に  
京の町には  
コンチキチンのお雛子が流れ  
各鉾町で山鉾建が始まった  
祇園祭が終われば  
背筋を汗がソーッと流れる京の夏が来る





2015/7/1 報告その2

皆さんご心配いただきました。  
神戸医療センターICUに始まり、京都医療センター、  
約2週間原因究明の入院が続いていましたが、今  
日中にすべての検査を終え、明日(7月2日)退院に  
なりました。

まだ最終の原因が解明されていませんが、経過が良  
好なので、明日退院して通院で経過観察と治療継  
続をすることになりました。

何か菌が血液に入っの敗血症性のショック状態で  
心不全が起きたようです。

体調は順調に回復し、スリムになって甦りました。来週  
(7月6日)より、通院治療を続けながら通常のスケ  
ジュールに徐々に戻ります。

今年一年でこれまでの残務をすべて終えて、一作業  
療法士としてライフワークに取り組みます。



帰って来いよと自作  
のネコ(陶芸)



約4kgスリムになりました  
ダイエットにはICU

2015/6/27 報告とお詫び、お礼

第49回日本作業療法学会途中から体調を崩し、多くの皆さんにご迷惑とご心配をかけました。

ご心配くださっている方へ取り急ぎ経過と現状報告をしました。

- 19日Muho代わりなく、なぜか夜はエキゾチックな皮膚感覚
- 20日朝から不調。この日の昼頃体調崩れから絶食状態。認知症シンポジウムを何とか聞いたら体調さらに低下。夕方の交流会は他人に参加兼をゆずり、辛うじてホテルに帰る
- 21日全身の関節痛がひどく動けない。朝のシンポジウム発言のためタクシーで会場。上段がおぼつかず話はじめのタイミングがつかめない。はじめての経験。座って少しずつ話を始めるがテンポが違い、会場がその気配を感じているのがわかる。気がつけば持ち時間をかなりオーバー。なんとか話終えるが、それで精一杯。...シンポジウム第2段参加のつもりが、あまりに大変なので休憩室軽いせんもう状態のまま神戸医療センターICU
- 22日全身の関節痛がひどく動けないまま。腎機能低下のまま排尿なく、水分体内蓄積。挿浮腫。体重10kg増加。
- 27日朝から排尿が始まり、危険域を出たので急遽京都医療センターに移送。ふらつくが座位可。発症経緯は前回に比べて経過は異なる。原因究明のため可能性のある検査がすべてこころみられている

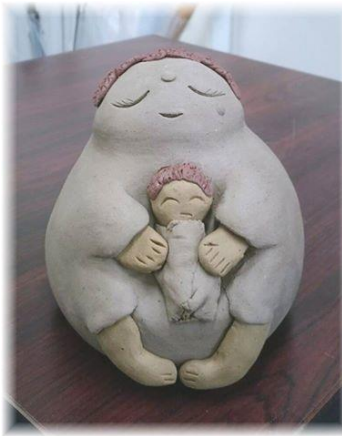
2015/6/5

梅雨の晴れ間  
今月唯一の日曜日  
大原三千院の参道奥、宝泉院に  
紅葉の若葉を通して聞こえる声明  
...風に運ばれる声明と  
つばいの苔を伝って流れる水が奏でる  
水琴窟の音色に身を委ねて座すと  
樹齢700年を超える五葉の松が  
ただ静かに眼前に広がる  
時が止まり  
竹林から  
千年の風が香る  
拝観に供される一服の抹茶  
しばし口に運ぶのも忘れ  
ただ座す



2015/6/4

ボランティアで入っている精神科OT  
掌(たなごころ)に土をくんで  
患者さんと話していたら  
ふっくらあたたかいかたまりに  
  
なんとなく中をくりぬいて  
さわっているうちに  
大きな母さんに思えてきた  
  
それならと  
少しへこみとふくらみをつけ  
膝の上に赤ちゃんを置いてみた  
  
対象のすべてを包む母性性  
論理的で客観的な判断ができる父性性  
二つを併せもつセラピストでありたいと  
臨床を続けてきた



2015/6/3

梅雨の走りか  
明け方からの雨  
しとしと音もなく  
降り始めた雨が次第に強まる

紫陽花の季節が始まる  
ビワの実もそろそろ食べ頃

之布岐(シブキ)の花の白さが  
いっそう可憐に

しばらの雨の季節の力を借りて  
洗い流すのもいい  
溜まった思いも生活の埃と一緒に



2015/5/24

早朝からの資料作成  
休憩に散歩に出たら  
紫陽花の花芽が  
ああ、これは少し遠出を...  
と思ったら  
忙しくて何年も会っていない  
仲間の顔が浮かんできた  
それならとハンドルを握って  
信楽の郷まで  
長年ご無沙汰していたのに  
みんなで出迎えてくれ  
記念写真も気持ちよく  
ついでに古い登り窯をみて  
イタリアから来たという  
鉄人28号のお友達のような方に会って  
仕上げは石臼挽き十割蕎麦太うち  
泰山木の花が「もう夏だよ」



2015/5/21

五月二十一日 木曜日  
自宅で頼まれている研修の資料作成  
原稿校正など  
平日自宅で仕事という  
二ヶ月前には考えられなかった体験

それならと  
早朝の一仕事の後  
これまでなら出勤の時間に  
朝のウォーキング

御陵の森を歩く  
紅葉の古木が  
赤ん坊の手のような小さな葉を  
空一杯に開いている

二百数十段ある階段を上ると  
眼下に  
伏見から宇治の街並みが開ける  
少し日が高くなりおぼえたのか  
朝露が消えてゆく

さあ、自宅仕事に戻るとしよう  
小走りに駅に向かう学生や勤め人を  
ああ、少し前までは自分も  
こんな風に駅に向かっていたのだろう  
思わず「ごめんさい！がんばって」と



2015/5/19

今日のライブスーパービジョン  
午前の心理教育は薬剤師による  
気分障害の薬物療法編  
午後は急性期パラレル...  
作業を介したかわりの中  
陶芸の粘土の練り直しに  
手にした粘土が勝手に動きだし  
目の前にいたOTスタッフに  
姿を変えた  
フッフ！  
それではと  
二人ならんで記念の写真





2015/5/19

葵祭が終わり  
里山の草木が喜ぶ五月雨の季節  
今日は  
これまでに試みてきたのだが  
「ひとと作業・生活」研究会...  
主軸活動の一つ  
ライブスーパービジョンの日  
午前中は急性期心理教育  
午後は急性期パラレル作業療法  
いずれもセッションの場に入り  
その後でグループスーパービジョン  
具体的な共有体験を通して行う  
Here and Now に近いもの  
行ってきまーす！

道ばたの花が「よい一日を」と言った



2015/5/17

協会活動30年最後の理事会の翌日  
自分が自由に過ごすことができる日曜日  
ああ、ここ10数年忘れていた時間  
嬉しくなって  
調子が悪くなっていた眼鏡の調整に町に出る

本屋によって  
眼鏡研究社によって  
歩いていたら  
いつもは大学からの帰りに立ち寄る  
ハイボールバーが開いていた  
こんな日だからこんなことがあってもいいか  
と、気がついたらカウンター

山崎ハイボール  
復刻版角ハイ  
コップを傾けながら  
安保関連法案の閣議決定が  
やりきれなさをもって思い出された

義母は大久野島(別名毒ガス島)で  
終戦を迎え被爆した  
今、認知症を生きている  
なぜ戦う道を開くのだろう

日曜日の昼のハイボールと  
憲法九条  
何の服絡もないような二つが  
僕のなかには確かな意味をもって  
並列している



2015/5/16

協会活動30年  
最後の理事会を終え帰路の新幹線  
朝夕の食事を新幹線の中で済ませる  
日帰り上京から解放

今日の新幹線の晩御飯は  
自分にご苦労さんといつもより品数も多く  
鹿児島黒毛和牛  
Beef Steak & SUKIYAKI  
香りのエールビールYONA YONA  
純米上善如水白こじ

そして  
帰りの供は  
赤瀬川源平の「困った人体」  
忙中開あり  
30年、新幹線は電話とファックスから自由な時間  
何冊読書ができたろう

もつともケイタイという器具ができてからは  
こちらの都合におかまいたく  
大切な思考の時間に  
断りもなく  
づかづかとハイリコマレルようになったが

さてさて  
最後の帰路をゆっくり過ごそう  
(ああ、ケイタイが呼んでいる！switch cut)  
Switch off なんて、悠長なものではなく、思わずcut



2015/5/16

早朝  
濡れそぼる鉄路  
朝食をとる時間もなく京都駅へ  
日本の作業療法協会50年史編纂と

協会活動30年の最後の理事会に向けて上京  
毎月数回  
あわただしく移動に使ってきた新幹線が  
今日はなぜか新鮮な感じがする

席について朝の腹ごしらえ  
タケノコご飯と鉢の西京焼のおにぎり  
脂肪がつきにいくという誘いにつられて  
朝から黒烏龍茶

考えずにバッグに投げ入れてきた本  
取り出してみたら  
「くげそうな時の臨床哲学クリニック」  
なんという無意識の選択  
思わずニンマリ  
さてさて 立つ鳥は  
爽やかに次の旅へ  
くじける暇はない



2015/4/14

京は春の雨  
冬の雨と違って山の緑が喜んでいる  
山々の緑が湧きはじめ  
山が萌えている  
...春の始まりを告げる花から  
初夏の爽やかさを運ぶ花へ  
時を告げる開版(木魚)に迎えられ  
黄檗宗大本山萬福寺  
廻廊を歩く



2015/5/7

渋滞の帰省が終わり  
日常が戻ってきた

気がつけば  
竹の子はもう子ではなく少年に...  
カラスのエンドウも  
いつのまにか花が終わり  
小さなエンドウのような実がつき  
桐の花が香る季節に

今年区切りの学会  
仕事は  
テーマシンポジウムと  
仲地コングのMUH00

いただいたシンポジウムのテーマは  
「人を元気にする作業療法」  
元気がって何？  
人を元気にするの？  
人は作業で元気になるのでは  
あとは学会で語ろう

時代はすでに  
作業療法の知と技は必要とされるが  
作業療法士は淘汰される時を迎えた  
あなたも語りませんか？  
MUH00とシンポジウムで

49th OT CONGRESS & EIPPO  
Theme Symposium: Prospects and future of OT



ひとを元気にする作業療法

Hiroshi Yamane : OTR, PhD  
Chairman of Society of Human and Occupation-Life SHOL  
Professor Emeritus of Kyoto University





2015/4/28

淀の川港は  
水の季節に  
高瀬川に水が満ち  
酒蔵を背に  
十石舟が遊覧

...川岸の草花に  
爽やかな  
若い夏の風が  
戯れる

川面に映る  
酒蔵と萌える柳葉  
行く先を定めぬ  
歩々..歩々..



2015/4/22

気がつけば  
ゾロ目の66  
66ゾロ目は新しいことが始まるという  
さい先のよい数字  
66歳は緑寿  
...その日から  
長かった春の雨もあがり  
山々の緑が  
泉の水が湧き出るように  
わきあがっている  
つやつやと  
やわらかな初夏の日差しに  
生まれたばかりの  
赤ん坊の手のように





2015/4/17

雨が続く春の夜  
人工の明かりが眩しくて  
蛍光灯を消してみた

小さなランプを灯し  
少しのスピリッツ  
しんと春の夜

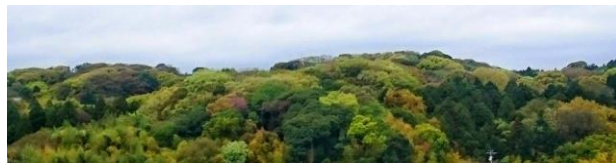
今朝は  
時とともに雲が晴れ  
実生17年の  
銀杏の緑が濃くなっていた



2015/4/14

京は春の雨  
冬の雨と違って山の緑が喜んでいる  
山々の緑が薄きはじめ  
山が萌えている

春の始まりを告げる花から  
初夏の爽やかさを運ぶ花へ  
時を告げる開版(木魚)に迎えられ  
黄檗宗大本山萬福寺  
廻廊を歩く



2015/4/9

手にとるな  
やはり野に置け蓮華草

一区切りつけて  
ゆっくりとボランティアで...  
臨床に入る

時間に追われることなく  
静に生活行為を通して

ゆっくりと向き合う中で  
手にした土のかたまりが  
いつか一枚の器になった  
蕎麦窯変布目皿

誰かにあげよう  
このあるがままの  
時空に生まれた一つの器を

手にとるな  
やはり野に置け蓮華草



2015/4/1

昨日 出勤簿に  
26年間最後の押印  
今日から自由人  
他職種の夏期研修を始めて10年...  
職域を越えた研修とスーパービジョンは  
これからのライフワークの一つ  
自由人初日は  
夏期研修の会場になっている  
青梅の学校の入学式  
新しい学び人にお祝いの言葉を贈るために  
昨夜は奥多摩の温泉宿  
静かな朝 散歩と朝湯  
山里の春



2015/3/30

職員証  
健康保険証  
自分が管理している部屋の鍵  
諸々すべて返却  
何枚書類を書き押印したのだろう...  
退官の事務処理  
明後日4月1日から  
すべての肩書から解放  
作業療法士山根寛  
34年前の素っぴんに  
どんな感じかなと思っていたが  
まだよく分からない  
意外に清々しい  
垂れ桜がほぼ満開  
山桜もソメイヨシノも  
まるで今日に合わせたかのように  
咲き遅れの桃の花も  
足下にはスミ  
ミツマタの花も  
見上げれば  
青空を飛行機雲が  
明日出勤簿に最後の押印で  
すべての括り  
イカナゴのくぎ煮を肴に  
京はふじちとせにこり酒



2015/3/29

今日は  
日本園芸療法学会理事会  
ひとと植物や植物が育つ環境  
ひとと音や音楽とのかわり...  
日常生活活動とともに  
作業療法の重要な活動として  
扱ってきた  
ひとと植物の関係を考えると  
園芸療法や作業療法という枠も消え  
る  
動物性は  
すべて植物の恵みで生きている  
帰りの車の中  
ひとと植物のかかわりに  
思いを広げると  
学会という  
人間のしがらみが  
あまりにも小さく見える  
時速 280kmの時空の移動を  
YONAYONAとともに





2015/3/26

毎年  
若者たちの旅立ちを祝い  
送るときを迎えるときの  
ネクタイを新調する  
...今年も自分も旅立ち  
てんとう虫のピンを一つ  
少しうれしくなった  
若者たちの旅立ちを見届け  
古い扉を閉めて  
新しい扉を開く準備をし始めたら  
研究室の実生の銀杏が芽吹き  
庭の桜の古木に花が咲いた  
春は静かにやってきた  
古い扉を閉める寂しさと  
新しい扉を開く期待が  
ゆるゆると混じり  
風が



2015/3/23

白モグレンが  
ピロードのコートを脱ぎ  
まだ寒さの残る  
早春の風にゆれ  
...一足早く  
垂れ桜が二分咲き  
ソメイヨシノも  
花芽が  
学位授与  
ひとつの区切りに  
若者は旅立つ  
Be good! Do good!  
いつもの言葉を贈ろう





2015/3/21

いつもの新幹線の一人飲み  
新し物好きなので  
醸造家の夢という名にひかれて

それなりに美味いけど  
300円近い値段のほどでは  
好きずきかな

なんとなく中途半端なときは  
馴染んだ店で寛ぐように  
こんな時にと携帯している  
山崎12年  
それに今回は  
木なりの干し葡萄が  
特別参加

ああ、このただ、ただ  
太陽の恵みだけで  
凝縮した葡萄の甘味が  
大麦のスピリッツと  
ムフフのひとつき

山歩き時のスキットルが  
今では町中での寛ぎの道具  
なんとジジイになったことか  
山で気付けや遭難時の道具を  
町中で使うようになるとは

それも楽しい



2015/3/15

昨日は  
東京日帰り仕事  
作業療法士協会三役会  
毎月理事会の前の週に  
理事会審議事項と報告事項...  
数十項目すべてを確認検討  
毎回4~5時間  
なんという真面目な職能団体  
これを約26年  
もうすぐ後進に引き継ぐ  
多様化する業務に  
協会長と事務局長は  
新年度から常勤  
今年度最後の三役会を終え  
昨日の帰りは  
久々に  
新幹線一人飲み  
いつものYONA-YONAに  
山崎12が  
「今日はわたしも」と仲間入り  
下車駅の緋裳桜が  
「お疲れさま☺♪♪」  
って言ったような気がした



2015/3/13

明日は早朝出張なので 少し早めに帰る  
でも、途中で一人寄り道  
今の季節のビアカクテルは  
キウイベースの翡翠美人だ  
いつもの黒胡椒の効いたポテトサラダとは  
ミスマッチだった  
さあ、帰ろう！



2015/3/7

陽気地中にうごき  
ちぢまる虫  
穴をひらき出ればなり  
啓蟄をすぎ...  
春の足音がする  
水ぬるみ 風ぬるみ  
見上げれば  
青空を  
飛行機雲が  
真っ二つに分けていた  
日だまりのベンチに腰かけ  
胸いっぱい  
春の兆しを吸い込んだ



2015/3/4

最終講義が終わり

最後のユリカモメが北へ帰り  
紅梅が咲き終わり  
琵琶の水と比叡の覆水が  
鴨川に春を運ぶ  
しだれ柳が春の訪れが  
近いと告げる

ありがとう  
みんな元気で  
また会おう



2015/3/4



2015/2/29

今週末最終講義  
26年間最後の講義に向け  
部屋の断捨離  
をと思いたつが進まない...  
耐震工事やさまざまな理由で  
5度ばかり部屋を移動  
その都度整理したのに  
書籍や資料へ増える一方  
それ以上に何とはない小物たち  
あれほど 毎年処分したのに  
部屋を見渡し  
啞然とする  
さてどうしたものか



2015/2/26

退官という私事の慌ただしさのなか、気がつけば、鴨川からユリカモメが姿を消した。  
ああ、もう春が来る。  
二夜明ければ作業療法の学生たちは国家試験という壁がある。  
過ぎた者にとっては、なんということはないが、初めての者にとっては大きな壁。  
この時期には、母性の思いと父性の思いと、二つの思いが交錯する。  
...母性は、我が教え子は、作業療法の学生は、作業療法は、リハはと境界を広げながら、  
その内を抱え護ろうとする。  
父性は、教え子を越え、作業療法という職種を越え、リハという職域を越え、内に厳しさを求める。  
見上げてみたら、立ち入り禁止、宮内庁の達筆。  
ハードルもボーダーラインも人が決めたもの。  
越えるもよし、横路な迂回するもよし。いずれもわが道。





2015/2/15

なんと！さすがが作業療法士！  
ZLZIの退官記念のサプライズに  
こんなもの作ってくれました。  
ZLZI気持ちダイエット飲料  
黒烏龍茶特大と...  
モグロフクゾウ風の似顔絵！

なので  
愚のりして  
モグロフクゾウ風してみた



2015/2/13

もう2月も半ば、国試の追い込みに入るもの、再試で苦しむもの、  
学生たちはそれぞれに区切りの時期。明日は京都府作業療法士会の皆さんが、退官に際し、シンポジウムや講演会を開いてくださる。ありがたいことだが、本人はまだピンとこない。後、一月と半というけど。

如月も半ば  
薄氷がはり  
時おり雪が舞う日もあるが  
日射しは日に日に長くなり  
空は青く明るく  
春を待ちかねたユキヤナギが  
ひとつふたつ  
白梅も紅梅も  
人生の新たな扉を開く者  
人生の括りの扉を閉める者  
それぞれに春を迎える  
神さま仏さま  
こんなときこそ  
みんなに春を



2015/2/9

立春も過ぎ、後期試験も再試験も学位審査も終わり、入試と国家試験が間近なのに、今年は梅便りが届かない。

実生の銀杏の芽はまだ固く  
梅の便りも  
今年は遅配？  
...春を待ちわびて  
里山にお願いし  
山の緑を少し分けていただいた  
苔のミニ盆栽  
研究室に少し潤いが  
国試の追い込みをしている  
学びびとたちにも  
里山の春の便りを届けよう  
もうすぐ春が来るよって  
君たちに春が来るよって  
そっと届けよう



2015/2/7

鴨が二羽呟いていた

「ねえ、何かいいことない？」  
「何かって？そやなあ」  
「後ニヶ月で、毎朝このマークに並んでよーなる」  
「あの電車にも毎日のらんですむしな」  
「フフフ、私と一緒に時間が増えるの？」  
「ん？……………」

(すべてから解放されると彼は胸膨らませていたのだろうか)

(すべての首輪を外す。それは、○○を野に放つようなものではないだろうか？)



2015/2/3

琵琶湖と比叡の雪解け水か  
鴨川の水の流れが豊かに  
北に帰る日が近づき  
ユリカモメが名残を舞う

研究室の実生の銀杏も  
芽吹き準備を整える

吉田神社に鬼が来た  
明日は立春  
豆(魔目)を撒こう  
鬼も内! 福も内!

春よ来い! 早く来い!

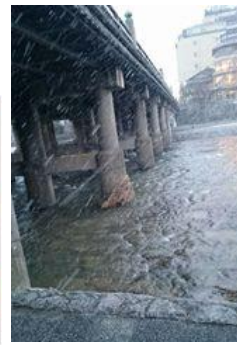


2015/1/28

一年の始まり  
立春を前に寒気一転  
雪が舞いはじめ  
ユリカモメたちが  
あわてて少し早めの帰り仕度

横から吹雪き  
傘がとび  
三条大橋が寒さに震える  
コートの襟を立て  
家路を急ぐ

水分を含んで  
重く張りついた雪を払い  
ランプに明かりを灯す  
君はもう帰ったのだろうか  
一息つきながら  
寒さに働く友を思う



2015/1/21

冬雲が割れ  
蠟梅の沈とした香が流れ  
川面には  
ヒドリガモの連れ合い  
...大寒の凜とした寒気に  
ユリカモメが舞う  
大地の下に  
硬い蕾の内に  
春を待つ命の脈動を感じる  
来る春を  
蠟梅の香のなかで待つ  
一人の母は春がわかり  
もう一人の母は春を忘れた  
共に認知症と言われて数年  
それぞれが命の括りを生きている  
二人母と共に生きる  
限りある命を  
命の限りを  
生きてきたことを  
飲んで括るために  
来る春を生きる



2015/1/18

年が明け半月もう小正月  
年末年始にかけての  
鬼の攪乱から  
観察を残しながら  
日常への参加開始  
...御香宮に恒例の祈願に  
大学で作業療法士教育に  
携わるようになった年から26年  
年に一度の神頼み  
学生全員の名前を書いて  
国家試験合格祈願  
時々願いを聞いてもらえぬ年もあった  
さては名前を書き忘れたか  
名前を書き間違えたかと  
胸がザワザワしたことも  
合格祈願の神頼みも今年が最後  
昨年までは元日  
今年は故あって小正月に  
快復のお礼とあわせて  
例年より念入りに祈願してもらう

そういえば  
今年是最後の祈願ということで  
「すべり止めの砂」という  
ありがたいものを  
昨夏帰省したときにいただいてきた  
これは、すべての受験生に  
写真公開しましょう！





2015/1/16

昨年末の  
身体内部の氾濫から約三週  
炎症反応がおさまり  
抗生物質の点滴服薬が終わり  
観察期間に入り...  
徐々に日常復帰の慣らし運転  
この仕事について三十余年  
病欠とはいえ初めての複数日の年休  
あの身体の氾濫は  
人生の区切りに  
からだが出した  
身体の声を聴けとの警告だったのだろう  
レストした車体をいたわりながら  
そっとエンジンのスイッチを入れる  
ルルルブルブルン  
眠っていたエンジンが身震いをする  
ギアを切り替え  
ゆっくりとアクセルを踏む



2015/1/5

ビジネスホテルではない  
救急センターの特別室  
昨年末27日やや変調  
構わず新版原稿校正  
28日急変頸部肩関節痛高熱...  
全作業不可能関節痛未梢へ拡大  
夜間救急インフルエンザ陰性  
29日再検査陰性検査数値悪化  
抗生物質点滴  
30日さらに悪化  
原因不明で京都医療センターICU転送  
敗血症の疑いも菌特定されず  
抗生物質点滴で4日

\*医療センターICU 続

下がり続ける血圧維持と  
特定不明の菌対策の抗生物質点滴5日  
検査値の変動が収まり一般病棟移動...  
自立歩行不可関節痛は四肢末梢部に移動  
4日関連部署に連絡するため  
パソコンと携帯が使用可能な特別室手当て  
5日、やっと何か所かに連絡  
延期、中止、代行  
ああ、なんという年度が<sup>わ</sup>りの10日間  
みなさん、よい年を

2015年の始まりはICUからという年  
人生の区切りに身体がからだの聲  
に耳を傾けるよう忠告

